

平成 25 年 度 教 育 委 員 会 予 算

(1) 一 般 会 計

(単位 千円)

区 分	予 算 額 (A)	左 の 財 源 内 訳										24 年 度 当 初 予 算 額 (B)	前 年 度 対 比		
		分 担 金 及 負 担 金	使 用 料 及 手 数 料	国 庫 支 出 金	財 産 収 入	寄 附 金	繰 入 金	繰 越 金	諸 収 入	県 債	一 般 財 源		(A)-(B)	% (A)/(B)	
教育委員会	人件費	102,753,128		61,266	18,326,331					71,209		84,294,322	105,116,392	△ 2,363,264	97.8
	① 事業費	11,452,608		89,586	3,073,117	101,838		260,648		740,218	134,000	7,053,201	12,468,764	△ 1,016,156	91.9
	計	114,205,736		150,852	21,399,448	101,838		260,648		811,427	134,000	91,347,523	117,585,156	△ 3,379,420	97.1
県 計 ②	人件費	154,160,823		735,673	18,829,887			32,810		108,413		134,454,040	158,402,627	△ 4,241,804	97.3
	事業費	427,565,177	4,026,042	2,570,610	69,352,365	974,503	16,500	17,362,807		51,798,216	39,274,000	242,190,134	427,257,373	307,804	100.1
	計	581,726,000	4,026,042	3,306,283	88,182,252	974,503	16,500	17,395,617		51,906,629	39,274,000	376,644,174	585,660,000	△ 3,934,000	99.3

県予算額に占める 教育委員会 予算額の構成比 ①/②

年 度	区 分	計 (%)	事業費 (%)	人件費 (%)
25 年度	当 初 予 算 額	19.6	2.7	66.7
24 年度	当 初 予 算 額	20.1	2.9	66.4

平成25年度 教育委員会当初予算（一般会計）の概要

I. 予算のポイント

1 教育の再生、未来を拓く人づくりと青少年の健全育成

【基本方針】

小・中学校では、全国学力・学習状況調査において一定の成果が見られるものの、低学力層が多いこと、活用に関する問題の正答率が低いことが課題であることから、多様な学習機会や切磋琢磨する場の提供を図るとともに、加えて豊かな心の育成や読解力向上のため、読書活動の充実を図ります。また、高校では生徒が希望に応じた進路を実現するため、進学力や就職力を着実に身につけるとともに、キャリア教育を充実します。さらに、いじめについては、早期発見、早期対応のための組織的な取組の強化や、警察等関係機関との連携を推進します。

(1) 子どもの挑戦や自己実現を支える学校教育の推進

組織的に学力向上に取り組む市町村への支援や、質の高い学習を実現するため教員の教科指導力を強化するとともに、学校司書や地域人材等を活用して学校図書館活用教育を推進します。

また、体力向上に向けた運動の日常化・習慣化を図るため組織的取組の強化を図ります。

(2) いじめ・不登校対策の強化

いじめ・不登校に対する組織的な対応力を強化し、いじめを許さない、不登校の出にくい学校づくりを推進するとともに、支援体制の充実・強化と関係機関との連携促進を図ります。

2 芸術・文化の興隆とスポーツの振興

【基本方針】

県立美術館の開館に向けて、新たな県民文化を創造するための取組を推進するとともに、文化財を観光素材として活用を図るため、文化財の戦略的な整備を行います。

また、北部九州4県で合同開催する全国高等学校総合体育大会の運営に万全を期し、高校生はもとより県民あげてのおもてなし活動を展開します。

(1) 県民文化の創造

県立美術館開館に向けた企画展・コレクション展の開催準備や、まちなか支局等を活用したPR並びに教育普及プログラムの開発など県民文化を創造するための取組を推進します。

(2) 文化財・伝統文化の保存と活用

国の指定に向けた重要な文化財の保存計画策定、調査等の取組や、市町村による文化財を核とした観光ツアーの造成、情報発信への支援を行います。

(3) 全国高等学校総合体育大会の開催

高校生の総開会式、競技種目別大会への参加及び地域イベント、メディアを活用した広報活動を支援するとともに、県民あげてのおもてなし活動の展開を図ります。

II. 事業体系（県政推進指針）

【安心・活力・発展の大分県づくりの推進】

3 発展 一人を育て、社会資本を整え、発展する大分県一

(1) 教育の再生、未来を拓く人づくりと青少年の健全育成

① 子どもの挑戦や自己実現を支える学校教育の推進

— 特	学校マネジメント力向上推進事業	2,828
—	小学校1・2年30人学級編制実施事業	135,485
—	中学校1年30人学級編制実施事業	125,342
—	情報活用実践力向上事業	11,412
—	緊急雇用ネット安全教育推進事業	23,026
—	県立学校施設整備事業	2,824,602
—	学力向上対策支援事業	334,718
—	特別支援学校就労支援事業	31,660
— 特	特別支援学校改革支援事業	1,395
— 新	教育センター機能強化事業	156,306
—	進学力パワーアップ事業	6,152
—	はつらつ大分人材育成事業	14,259
—	高校生キャリア教育ステップアップ事業	8,399
—	高校生就職力向上対策事業	21,167
— 特	おおいたものづくり人材育成事業	9,710
—	農業高校生チャレンジ支援事業	10,655
— 特	おおいたビジネス人材育成事業	4,491
— 特	学校図書館活用教育支援事業	46,992
—	地域「協育力」向上支援事業	67,774
—	子ども科学体験推進事業	14,755
—	おおいた学びの輪推進事業	7,999
—	大分っ子体力向上推進事業	23,060

② いじめ・不登校対策の強化

—	いじめ・不登校等未然防止対策事業	9,621
—	いじめ・不登校解決支援事業	124,951

(2) 芸術・文化の興隆とスポーツの振興

① 県民文化の創造

— 特	地域の文化財魅力度アップ事業	30,507
— 特	おおいたこどもアート体験プロジェクト事業	2,538
—	まちなかアートギャラリー推進事業	5,783

② 全国高等学校総合体育大会の開催

—	全国高等学校総合体育大会開催事業	507,848
---	------------------	---------

(注) 事業名前の「特」はおおいたプラン加速枠を、「新」は新規事業を示す。

平成25年度一般会計当初予算

(単位：千円)

事業名	平成25年度 当初予算額 〔平成24年度 当初予算額〕	当初予算の概要	所管課
1 特 学校マネジメント力向上 推進事業	2,828 (0)	学力・体力の向上等、学校の組織的な解決力を強化するため、目標達成に向けて組織的に取り組む「芯の通った学校組織」推進プラン等に基づき、学校運営組織の改善や教職員の資質向上等を図る。 これに併せて、教育事務所の体制を強化する。	教育人事課
2 県立学校施設整備事業	2,824,602 (3,085,692)	高校再編プランに基づく施設を整備するとともに、学校施設の長寿命化と学習環境の改善を図るため、大規模改造等を実施する。 ・高校再編プラン分 4校 (佐伯鶴岡高校など) ・大規模改造 20棟 (中津東高校など15校) 【新】非構造部材耐震対策 (新生支援学校など)	教育財務課
3 情報活用実践力向上事業	11,412 (20,633)	【新】ICTを活用した、よりわかりやすい授業を行うため各市町村ごとに研究校を指定し、公開授業等を通じてICT活用授業を普及する。	教育財務課
4 緊急雇用ネット安全教育 推進事業	23,026 (7,648)	児童生徒をインターネット上のトラブルから守るため、保護者や生徒等に対し、フィルタリングサービスの利用を働きかけるとともに、ワンクリック詐欺等の実例を用いた講習会などを実施する。	教育財務課
5 小学生国際交流活動推進 事業	2,041 (2,041)	児童の外国文化への理解やコミュニケーション能力の向上を図るため留学生等との交流活動を行う。 ・大学キャンパス1日留学 15校 ・留学生等との交流会 15校 ・大分国際車いすマラソン外国人選手との交流会 7校 ・子ども国際交流キャンプ 5・6年生50人	義務教育課
6 学力向上対策支援事業	334,718 (329,241)	【新】学力の状況を明らかにするとともに、客観的な数値目標を盛り込んだ推進計画を策定して学力向上に取り組む市町村に対し、新たに習熟度別少人数指導教員(36人)を配置する。 【新】基礎・基本定着状況調査について、活用力の理解度を把握できるよう改善し、学力定着状況調査として実施する。	義務教育課
7 新 教育センター機能強化事 業	156,306 (0)	学力向上やいじめ・不登校対策など、多様化する教育課題に対応するため、教育センターの研修体系を見直すとともに、築後42年が経過し老朽化が著しい施設の大規模改修を行う。 〔債務負担行為 1,015,451千円〕	義務教育課
8 いじめ・不登校等未然防 止対策事業	9,621 (4,150)	いじめ・不登校等を防止するため、教職員に対する研修等を行う。 【新】児童・生徒が自ら取り組む「いじめゼロ子どもサミット」を開催する。	生徒指導推進室
9 いじめ・不登校解決支援 事業	124,951 (117,069)	生徒や保護者の悩み等に対応するため、専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラー等を小・中・高等学校に配置する。 ・小学校配置 61校 ・中学校配置 132校(全校) ・高等学校配置 24校 【新】いじめ解決に向けた支援を強化するため、心身危害を伴った対処困難事案等に対し、少年鑑別所OB等の専門家をメンバーとする「いじめ解決支援チーム」を学校に派遣する。 【新】夜間・休日のいじめ相談体制を強化するため、全国共通いじめ相談ダイヤルを24時間相談体制とする。 (全国統一ダイヤル 0570-078310)	生徒指導推進室
10 特別支援学校就労支援事 業	31,660 (21,226)	特別支援学校生徒の一般就労を促進するため、地域とのネットワークづくりや就職未内定者のトライアル雇用などを行う。 ・職業コースの設置(宇佐、南石垣、新生、大分の高等部) ・就労支援アドバイザーの増員(4人→6人) ・特別支援学校でのトライアル雇用の拡充(4人→7人)	特別支援教育課

事業名	平成25年度 当初予算額 平成24年度 当初予算額	当初予算の概要	所管課
11 進学力パワーアップ事業	6,152 (6,962)	普通科高校の進学力向上のため、進学指導重点校（8校）の生徒に加え、意欲ある他校生徒も対象として各学年ごとのセミナーを実施するとともに、難関大学進学を希望する生徒については、文系・理系別講座を実施する。	高校教育課
12 はつらつ大分人材育成事業	14,259 (2,132)	活力ある大分県を支える人材を育成するため、医学を志す生徒に対し地域医療を理解する講義等を行うほか、「科学の甲子園」の県予選会等を開催し、理数系人材の育成を図る 【特】高校1年生を対象に意欲ある生徒を募集し、知事や各界リーダーの講演等を行う。 【新】グローバルな人材育成のため、海外留学を志す生徒に対し、選考のうえ事前研修や支援金の交付を行う。	高校教育課
13 高校生キャリア教育ステップアップ事業	8,399 (5,096)	高校卒業後の進路希望に応じたキャリア教育を推進するため、社会人や先輩、地域社会に貢献する地元企業者などの講演会を各学校で開催するとともに、インターンシップなどを実施する。 【特】キャリア教育を普通科に拡大	高校教育課
14 高校生就職力向上対策事業	21,167 (25,994)	高校生の就職率向上と早期離職の防止を図るため、職業系高校等にキャリアコーディネーター（9人）を配置し、生徒や保護者に対するきめ細かな就職支援を行う。	高校教育課
15 農業高校生チャレンジ支援事業	10,655 (10,259)	地域農業を支える人材を育成するため、農業高校生が進路を見据えた学習や技術習得を進められるよう、カリキュラムに基づく学校農業クラブ活動の活性化を図る。 ・全国大会最優秀校指導者による合同研修会 ・県農業青年プロジェクト実績発表会への参加 ・農業高校生による地元中学校への出前授業 など	高校教育課
特 16 学校図書館活用教育支援事業	46,992 (0)	学力向上と豊かな心を育成するため、学校図書館のサポーター配置を計画的に進める市町村を支援し、28年度までに全ての小学校配置を促進する。 司書教諭や図書館サポーターの資質向上と学校図書館の活性化を図るため、専門的ノウハウを持つアドバイザーの派遣等を行う。	社会教育課
17 子ども科学体験推進事業	14,755 (14,986)	子どもたちの科学や技術への興味・関心を高めるため、小中学生が気軽に科学実験などを楽しめる常設の科学体験ルーム(0-Labo)を設置するとともに、県内6市町村での出前講座等を実施する。	社会教育課
18 おおいた学びの輪推進事業	7,999 (7,497)	生涯学習社会の形成に向け、ふるさと大分について学ぶ講座の開設など、学習機会を提供するとともに、福祉保健部等と連携し、地域づくりに参画する人材育成を支援する。 【新】ふるさとサポート講座	社会教育課
19 まちなかアートギャラリー推進事業	5,783 (5,633)	県立美術館開館に向けた機運醸成を図るため、まちなか支局を核に、商店街や県立芸術文化短期大学等と連携したイベントを年間を通じて開催する。 ・公募型アートイベント（絵画等展示、パフォーマンス）など	文化課
20 おおいた県民美術鑑賞推進事業	4,412 (5,013)	県民の美術への関心を高め、芸術会館所蔵品の鑑賞機会を充実するため、所蔵名品巡回展や関連イベントを、企画段階から地域と協働して開催する。 ・開催地 佐伯市、日田市（各2週間）	文化課
特 21 おおいた子どもアート体験プロジェクト事業	2,538 (0)	子どもの美術に対する興味・関心を高めるため、学校や公民館等で出前美術鑑賞授業を実施するほか、幼児等を対象とした親子造形ワークショップを開催する。	文化課

事業名	平成25年度 当初予算額 〔平成24年度 当初予算額〕	当初予算の概要	所管課
22 学校防災教育推進事業	5,292 (3,512)	地震・津波等の自然災害から児童生徒を守り、安全・安心な学校づくりを推進するため、実践的な防災教育を実施する。 ・モデル校における防災教育授業、実践的避難訓練の実施（3校→6校） ・実践事例集の作成 ・教職員防災教育研修の実施	体育保健課
23 大分っ子体力向上推進事業	23,060 (19,661)	児童生徒の体力向上を図るため、小学校の体育専科教員を県内各地域に配置する。（16人） 中学校においては、体育推進教員を指定し、域内の教職員の実技指導力の向上を図る。（16校）	体育保健課
24 全国高等学校総合体育大会開催事業	507,848 (111,878)	北部九州4県（福岡県、佐賀県、長崎県、大分県）で合同開催する全国高等学校総合体育大会「2013未来をつなぐ北部九州総体」の総合開会式及び8競技を開催する。 ・総合開会式 平成25年7月28日（日）大分銀行ドーム ・県内開催 陸上、バスケットボール、ソフトテニス、登山、自転車、ホッケー、フェンシング、カヌー	全国高校総体推進局